



マラテスタ(ロンドン、1921年)



法廷のエミール・アンリ

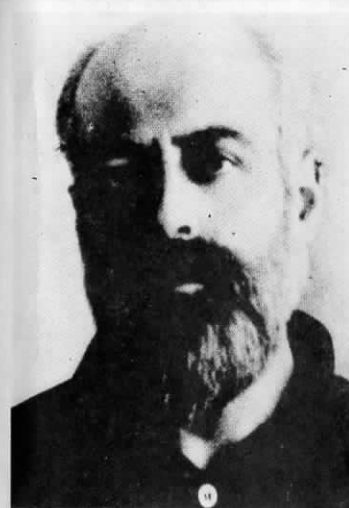
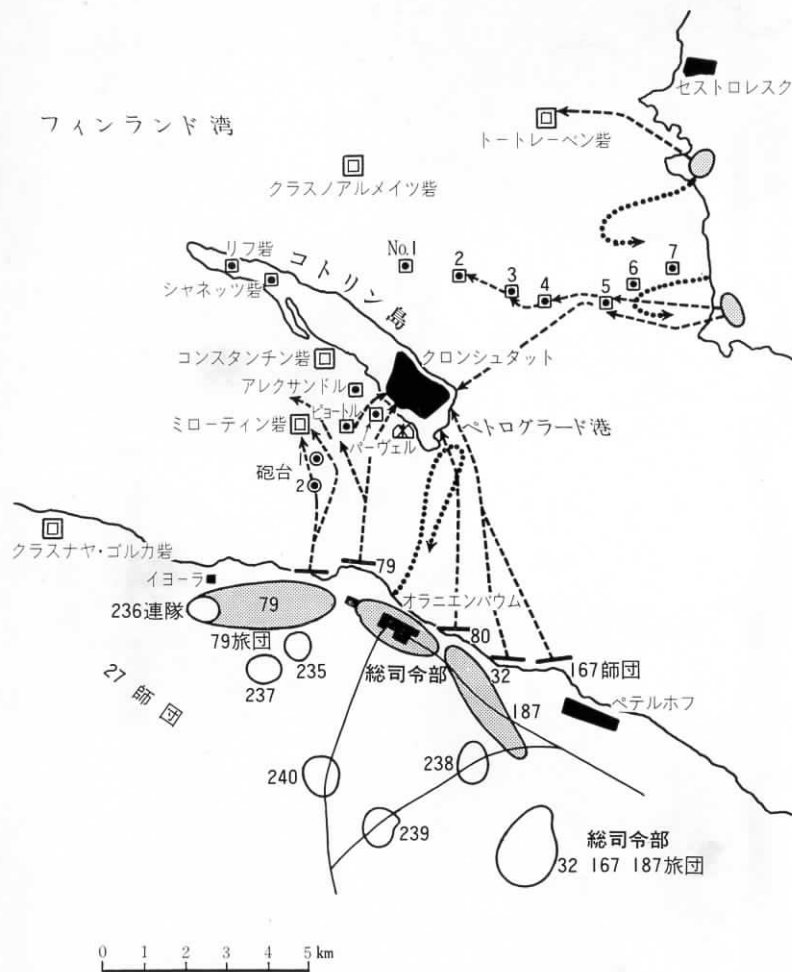


E. プージェ



『ペナールじいさん』の漫画(不当な裁判所)

クロンシュタット1921年3月17日の戦闘



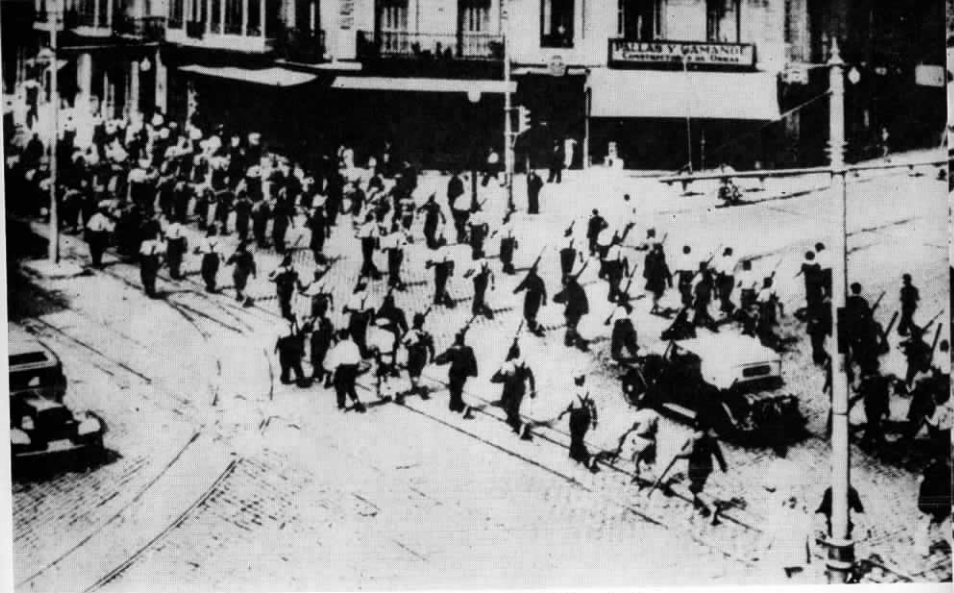
ヴォーリン



マフノー(左)、ゲリラと共に



ウクライナ・アナキスト部隊の旗



バルセロナにおけるアナキスト部隊の行進



ドウルーティ、銃弾に倒る
1936年11月20日 マドリードのリッツホテルにて



戦場のドウルーティ(左)、1936年

●エッリコ・マラテスタ 1853-1932 9

革命と反動 11

権威を持たぬ組織 12 組織の必要について 12

アナキー 13

ロンドン大会 (1896) におけるマラテスタとアナキスト 22

大会に出席したアナキストたちの宣言 26

マラテスタと一九〇七年八月二十四—三十一日のアムステルダムでの国際アナキスト大会 29

組織についての討議 (八月二十七日、火曜日) 29 叛逆の権利についての声明 (八月三十日、金曜日) 42

マラテスタ、アナキスト・インターナショナルと戦争 43

予言的な手紙 46

●エミール・アンリ 1872-1894 51

コンシエルジュリ長官への手紙 53

●組合の中のフランスのアナキスト 61

フェルナン・ベルーティエ 63

アナキズムと労働組合 63

エミール・ブージェ 69

エミール・ブージェの活動家生活 69 組合とは何か? 76

●スペインの共同体 87

アウグスチン・スーチャーによる 87

アラゴンの共同体連合の綱領 94

共有化の地区的事例 96

レセーサ 96 アンボスタ 97 レバンテ地方において 100

カタルニャ経済の共有化法令 104

D・A・デ・サンティリヤンの著作 110

絶対自由主義的計画化の図式 110 自由共産主義の二つの概念——ユートピアか経済統合か 112

●ヴォーリン 1882-1945 115

知られざる革命 118

ヴォーリンとトロツキー 118 ポリシエヴィズム批判 119

"ナバート"の諸会議 129

ウクライナのアナキスト組織 (ナバート) の第一回会議 129 ウクライナの組織 (ナバート) の第三回大会 130

●ネストル・マフノー 1889-1935 135

ネストル・マフノー、アナキスト・ゲリラ 135 クレムリンを訪問中のマフノー 136

マフノー運動 150

最初の《自由コミューン》 150 赤軍に (一九一九年初め) 統合されたマフノーの反乱軍 152

《反革命的》? 153 トロツキーと《マフノー運動》 158 マフノー、身を退くと申し出る 162

農民と労働者の地方大会 166

ウクライナ反乱軍の宣言 167

綱領Ⅱ宣言 169

アナキズムと《マフノー運動》 170

赤軍の兄弟たちへの《マフノー派》のアップール 171

●クロンシュタット 1921 174

トロツキーとの出会い 174 クロンシュタットの思い出 175

クロンシュタットで開かれたバルチック艦隊第一、第二艦隊総会の決議 190

反乱の機関紙 192

第一号(クロンシュタットの要塞と市の住民へ モスクワからの無線電報) 第二号(クロンシュタット市の住民へ) 第三号(勝利か死か) 第四号(論説 打電されたアップール ある手紙) 第五号(論説 ある代表団についての交渉 われわれは復讐をしないであらう 皆は連帯する) 第六号(最初の《公式声明》 最初の発砲 世界よ知れ! 解放 クロンシュタットより世界の労働者たちへ クロンシュタットは平穏である われわれが開いている目的) 第七号(トロツキーよ、開け 労働組合の再編成) 第九号(労働者と農民の同志たちへ) 第一〇号(われわれの将軍たち) 第一二号(郷に入っては郷に従え) 第一三号(レーニン・トロツキー商会 《コミューン》の恩恵) 第一四号(自称《社会主義》)

ペトリチェンコの証言 214

●獄中のアナキストたち(一九二二年夏) 221

●スペイン戦争の中のアナキズム 233

一九一九年から一九三六年までのスペインにおけるアナキズム 234

CNTと第三インターナショナル 一九一九年十二月のCNT大会 234 共産主義インターナショナル第二回大会(一九二〇年六月) 235 《無言劇》大会 237

スペイン革命 239

ファシズムに対し、ゼネストを! 239 権力にたいした反ファシズム 240 FAIの宣言 241

●ドゥルル・テイと絶対自由主義戦争 243

ブエナベントウーラ・ドゥルル・テイ 243 ドゥルル・テイの精神 251 マドリッド防衛 253

え、ドゥルル・テイは死んじやいない 255

ドゥルル・テイは語る 258

ロシアの労働者たちに 259 最後の訓辞 260

民兵はよし! 兵士は真平だ! 260

正規軍か絶対自由主義的民兵か? 261 動員に反対するアスカソン部隊イタリア支隊 264
レンシアでの地方会議における鉄部隊代表の発言 264

●政府の中のアナルコ・サンジカリズム 273

政府の無用さ 274 ある正当化の試み 275 反対意見 278 国際的に非難されたCNT 283

デリカ・モンツェーニの問題整理 285

訳者後記 293

人名・事項索引 300